

卓 話



サジーワニー ディサーナーヤカ（学友）様

松戸西ロータリークラブ奨学生（2011年～2013年）[学友]

千葉大学人文社会科学研究科特別研究員
山武市役所市民自治支援課

大網ロータリークラブの会長様、幹事様をはじめ会員の皆様、こんにちは。
今年の5月、四之宮お父様から大網クラブへ卓話に来るよう依頼がありました。しかし、そのころ、ちょうど世界中は、新型コロナウイルスの影響でロックダウンされてなかなか皆さんと接触できなかったころでした。その後、ロータリークラブの例会がお休みになっていたため、しばらくの間、話には行けませんでした。本日は、大網ロータリークラブにて卓話をする為に機会を作ってくださいました、四之宮お父様と板倉お父様には、心から感謝申し上げます。

私は、中学校2年生の時に試験で優秀な成績をおさめたので、校長先生が日本の里親さんを紹介してくださいました。貧しい家庭で苦しい生活をしてきた私は、日本の里親さんから奨学金をいただき、里親さんのおかげで、千葉大学に留学しました。学校に行くために学用品がなかった私は里親さんのおかげで、奨学金で学用品をいただき一生懸命に勉強しました。私は、子供のころ大変苦しい生活をしていましたが、そのころについて思い出すと三食食べられない日が多かったです。

私のような子供達がまだまだスリランカには大勢おります。私は子供の時から奨学金をいただいたため、今はこのような立場にあります。最初はその恩返しとして里親さんに感謝しながらスリランカに住んでいる貧しい家庭の優秀な子供達に支援してあげたいという気持ちで鈴木先生に相談しました。その結果、私は留学した時から今まで大変お世話になっていらっしゃる、鈴木先生（元校長先生）のおかげでスリランカの子供達に支援するコスモス奨学金基金という奨学金支援団体が始まりました。鈴木先生が代表で14年前にコスモス奨学金を始め、優秀であるが貧しい家庭の子供達に奨学金を与えるボランティア活動を始めました。コスモス奨学金は、優秀だが経済的に大変困っている子供達を支援するボランティア団体です。三食が食べられない子供達が大勢おります。学校でお友達のご飯を分けて食べる子供もいます。それから、鉛筆やノートなどもないため、友達と共通で使う子供も多く見られます。

私のロータリー大網クラブとの出会いは、私が米山奨学生として米山奨学生研修旅行に参加させていただいた時に、大網クラブの四之宮お父さんと佐藤先生にお会いした時にさかのぼります。

私は米山ロータリー奨学生の頃、奨学会委員長、柏東ロータリークラブの中村お父様と、国際奉仕プロジェクト委員長の新田様は、大網ロータリークラブの四之宮お父様、板倉お父様、石田お父様と一緒に2014年に始めてスリランカを訪問してくださいました。

両方のクラブが2014年に、初めてスリランカへいって、スリランカと交流が始まりました。里親様がスリランカにいって実際に里子の家を訪問してくださいました。コスモスセンターを訪問したりして、里子にとって一番必要なものを考えてくれました。コスモス奨学金で一年中使える学用品をいただきますが、子供達に必要な教科書、参考書などを買うことは奨学生にとって非常に難しいのです。また、コスモス奨学金をもらっている里子達の中で三食が食べられない子供たちが大勢おられます。このようなことがあり、ロータリアンの里親さんが帰国されてから、それぞれ各クラブで話し合っ、スリランカの子供達のために様々なご支援をしていただくことになりました。それで、一番最初に食糧支援を始められたクラブは大網クラブです。スリランカでこのような活動ができているのは私が米山ロータリー学友としてロータリアンとネットワークをしているからです。

現在、新型コロナウイルスの影響でスリランカも66日間ロックダウンされました。その期間内、外出禁止になり、奨学金をもらっている里子達の保護者は仕事が出来なくなり生活が大変な状況にな

りました。そのことについて心配なされた里親さんの皆様からご支援をいただいて里子達全員に食糧支援をしてあげるように言われています。このために大網クラブから大きなご支援をいただきました。主人メルビンは先週の日曜日にやっとスリランカに行けるようになりましたが、まだホテルで隔離しています。メルビンが隔離しながら里子達に食糧支援として一人の里子にお米 30 キローと他の食料をお配りしています。

大網ロータリークラブの里親さんはスリランカの子供達に教育支援だけではなく、健康を作るためのご支援をしてくださいました。遠い地域に住んでいる里子達がコスモスセンターに来た時に、宿泊が出来るように立派な建物を建ててくださいました。里親さんがスリランカにいらっしゃって、里子達の家を訪問してくださいって、実際に里子達の家環境などをご覧になりました。

クラブの関谷お父さんの里子は、皆様ご存じ通りに、小さい時から両目が見えない状況になっていました。その里子は、学校で勉強している時にも黒板に書いてある文字が見えない状況でした。関谷お父さんは里子の様子を実際にご覧になってからすぐにご支援をいただき、里子を眼科に連れて行きました。眼科の先生のお話によると、その里子が母親のお腹にいた赤ちゃんの時から栄養が足りなくて、生まれてからその影響を受けて目が見えないようになっているそうです。私の姉が月に一回関谷お父



さんの里子を眼科の検査に連れて行きました。これからでも体によく栄養が入れば子供の目がどんどん良くなると先生からご相談を受けたそうです。その結果、関谷お父様がその里子のためにすぐに大きなご支援をくださって食糧支援を始まりました。今まで長い間特別な支援をいただいたおかげで、マルシカさんの目が良くなりました。そのきっかけで大網ロータリークラブがコスモス奨学生を対象して、食糧基金を立ち上げました。関谷お父さんの里子が今年の 10 月に高校生卒業試験を受ける予定で、優秀な成績をもらうために頑張っております。

(関谷会員 里子マルシカさんと母親)

私とロータリアンの関係で現在千葉県内以下のロータリークラブからスリランカの子供達にご支援をいただいております。

現在 2790 地区のロータリアンとして里親になっている方々と支援活動を行っているロータリークラブ

柏東 RC ・大網 RC ・松戸西 RC ・茂原 RC ・東金ビュー RC ・八日市場 RC ・千葉 RC ・市川南 RC

八千代 RC ・君津 RC クラブ現在 、勝浦クラブ、その他 スリランカクラブ参加活動者

里子達へ教育支援と別に、各クラブから子供達へ様々な支援があります。

1. 食料支援 大網クラブ 現在 50軒以上
医療費の支援 大網クラブ
2. 図書の支援 柏東ロータリークラブ 西部洲コスモスセンターガンパハ地域にあります
3. 楽器の支援、音楽室 松戸西クラブ 北中部州 (ポロンアルワ地域)
4. 浄水器支援 君津クラブ 北中部州 (アヌラーダプラとポロンアルワ地域)
5. 浄水器支援 勝浦クラブ 北中部州 (アヌラーダプラ)
6. 浄水器支援 千葉ロータリークラブ (コロンボロータリーと計画中)

今年板倉お母さんが初めてスリランカを訪問し里子に初めてで出逢った時の様子

2020年奨学金里子達と



大網ロータリークラブの奨学生と食料支援をいただいている子供達の様子

2020年1月コスモス奨学金授与式にて大網ロータリークラブの里親さんが実際に里子達と
会って

今年の1月に石田お父様、板倉お父様をはじめ、高山お父様がスリランカを訪問し、実際に子供達の家を訪問してくださいました。貧しい子供たちのご支援をしてくださいました。言葉では言い切れないぐらい感謝の気持ちで一杯です。



里子の家を訪問して大網クラブの食糧支援をしている様子です。



私は奨学生になったことで自分だけではなくスリランカの大勢の人達が、大網ロータリークラブのご支援をいただいております。感謝の気持ちで一杯です。

これらの皆様方の善意は、スリランカ人にとって大きな力となっており、スリランカの大勢の人々は日本のロータリアンに心から感謝しております。

私はロータリー奨学金をいただけなかったらこのようにロータリアンと接触する機会ができなかったと思います。ロータリー奨学金をいただいた時から、今までロータリアンの優しいお心、親切なお言葉は、私がスリランカに帰っても忘れることができません。今まで大変お世話になりましたこと、ロータリアンの皆様にも心からお礼申し上げます。言葉では、言い表せないほど皆様方に感謝しております。

ロータリー奨学金が終わっても学友として皆様方との交流を大切に、日本とスリランカの懸け橋になって交流を続けたいと思います。今後もよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が早く落ち付き、皆様の活動がよく出来るように心より祈っております。仏様の御加護がありますようにお祈り致します。

追伸 私達家族が日本国籍を取得したこともご報告させていただきます。